



学びと誇りが実感できるまち

～ウェルビーイングの向上！～

令和5年5月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

うつすらとからかみ青き五月かな （山口誓子）

新緑が映える美しい季節を迎えました。家の中でゲームに興じるのではなく、恵まれている自然環境の中で様々な体験活動をしてみませんか。

さて、新型コロナウイルス感染症が、いよいよ5月8日からは、「5類感染症」に位置付けられ、季節性インフルエンザ等と同じような対応となります。子供たちの学校生活においてもマスクの着脱については本人判断が基本となり、それぞれが十分気を付けた生活をするようになります。学校行事等で何か留意することがある場合は、その都度学校から連絡をしますので、よろしくお願いします。

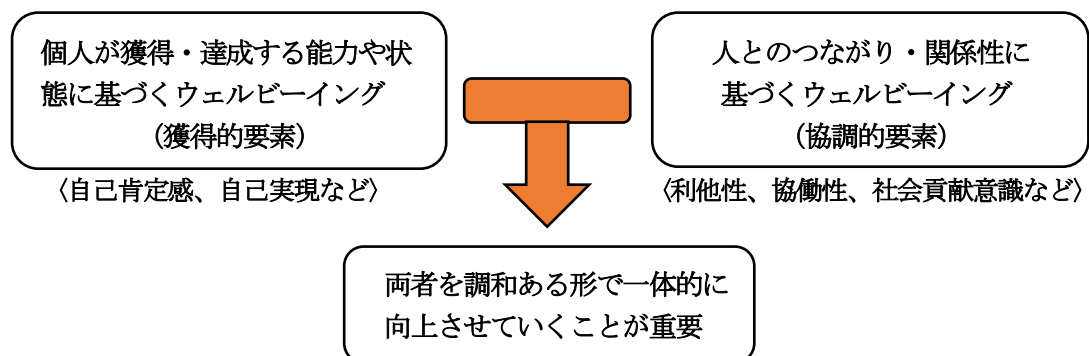
今回は、「ウェルビーイング」について話題提供をします。

今後10年以上先を見据えた次期教育振興基本計画が策定されていますが、令和5年3月8日に中央教育審議会がその答申を出しました。今回の大きな特徴の一つに総括的な基本方針として「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられたことがあります。

ウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。」と述べられています。

このウェルビーイングの実現とは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなることであり、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが求められています。

【日本社会に根差したウェルビーイングの向上】



日本の社会・文化的背景を踏まえ、自己肯定感や自己実現などの獲得的な要素と、人とのつながりや利他性、社会貢献意識などの協調的な要素を調和的・一体的に育み、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングの向上を研究していく必要があると思います。